

## 原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について ( 2011年1月 検針分 )

2010年8月～2010年10月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。  
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2011年1月 検針分の単位料金を2010年12月 検針分に比べて、1m<sup>3</sup>(46.1MJ)当り

▲ 1.2012 円(消費税込)、標準家庭(26m<sup>3</sup>)では月額 ▲ 32 円の調整を行うこととなりました。

### ●一般ガス供給約款料金における調整単位料金 (消費税込)

	単位	(A) 2010年12月	(B) 2011年1月	(B)-(A)
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	223.3288	222.1276	-1.2012
B料金表 (24m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	165.9778	164.7766	-1.2012

### ●平均原料価格

	単位	2010年7月 ～ 2010年9月	2010年8月 ～ 2010年10月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	50,090	48,750	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	56,050	55,460	
平均原料価格	円/トン	50,650	49,350	48,740

平均原料価格 = LNG平均価格 × 0.9471 + LPG平均価格 × 0.0573 (10円未満端数四捨五入)

※平均原料価格が77,980円以上となった場合は77,980円

原料価格変動額 = 平均原料価格 - 基準平均原料価格 (平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき)  
= 49,350 - 48,740 = 600 円/トン  
(100円未満端数切捨て)

### ●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金 = 基準単位料金 + 0.088 × 原料価格変動額 / 100円 × (1 × 消費税率)

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2011年1月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	221.5732	222.1276	0.5544
B料金表 (24m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	164.2222	164.7766	0.5544

(小数点第5位以下の端数切捨て)

### ●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m <sup>3</sup> )	(A) 2010年12月	(B) 2011年1月	影響額 (B)-(A)
26	6,411	6,379	-32

計算式・・・基本料金(税込) + 調整単位料金(税込) × 使用量 (1円未満の端数は切り捨て)